

## 地域で支える「総合的な学習“みついけ”の時間」の活動

対象学校名等	関市立田原小学校	対象学年	4年生・5年生
支援活動内容	社会福祉協議会田原支部による活動支援(情報提供・連携)		

### 学校の願い

- 4年生は総合的な学習の時間に「福祉」について学んでいます。隣接する保育園や老人福祉施設との交流を始め、体の不自由な方からの講話など様々な立場の方との交流を通して、相手の立場や気持ちを考え行動できる児童を育てたいと願っています。
- 5年生は総合的な学習の時間等に「田原の米作り」について学んでいます。地域の方から昔の米作りについて学び、手作業による米作りを体験するとともに、地域に感謝し、地域に貢献する気持ちを醸成したいと願っています。

### コーディネーターの関わり方

#### 社会福祉協議会田原支部

学校近くのふれあいセンターを活動拠点とし、一人暮らしの高齢者に配食サービスを行ったり、災害時に役立つ食物を育てる防災農園を開いたりするなど地域の福祉を支える活動を行っています。

**4年生** 毎月の配食日程に合わせ、一人暮らしのお年寄りの方に学校での出来事を知らせる手紙や暑中見舞い、年賀状などを書き、お弁当に添えて渡す活動を続けてきました。田原支部役員で学校評議員も兼ねる方が、「相手の気持ちに考えて行動できる子どもに育ってほしい」という学校の願いを受け、手紙が届く相手の方との対面の場を設けてはどうかとアイデアを出し、対面の実現に向け、学校や関係者と連絡を取り合いました。

**5年生** これまでも、子どもたちから収穫した餅米の一部を市の備蓄米として贈呈してもらい、活用してきました。コーディネーターが、備蓄米を管理する社会福祉協議会の方に手渡しする贈呈式を行えば、子どもたちが、地域に貢献しているという思いをより強く抱くことができるのではないかとアドバイスし、子どもたちにとってより良い活動となるよう、学校、関係者と打合せを重ねました。

### 活動の工夫や効果

**4年生** 11月 福祉交流会

手紙を書く相手の方との対面に触発され、子どもたちが実際にふれあう活動をしたいという思いを強くしました。子どもたちの思いを大事にし、次年度入学予定の園児、老人福祉施設「ほほえみごこち田原」の入所者、参加可能な一人暮らしの高齢者の方を体育館に招待し、歌やゲームで交流する「福祉交流会」を実施しました。“じゃんけん列車ゲーム”を参加者全員で楽しむことができ、体育館に笑顔が広がりました。また、手紙で交流している方との“ご対面”タイムでは、一人暮らしの高齢者の方が「毎月ありがとうございます。楽しみにしています。」とお礼を述べられ、子どもたちは、「手紙の相手は、この方だったんだ。」と初めて会えた喜びを実感しました。翌月からの手紙の交流がさらに意欲的な活動になりました。

**5年生** 11月 備蓄米贈呈式

社会福祉協議会から5名が来校し、5年生代表が収穫した餅米の一部の24Kgの餅米を備蓄米として贈呈しました。協議会の方に手渡しすることによって、多くの地域の方の協力のお蔭で収穫できたことに感謝する気持ちや地域にお返しをすることができたという充実感を味わうことができました。

学校の願いを大切にし、より良い活動になるように情報提供やアドバイスをし、関係機関と連携することによって、総合的な学習の時間の活動に広がりや深まりが生まれています。

手紙を届けた方との対面



備蓄米贈呈式

